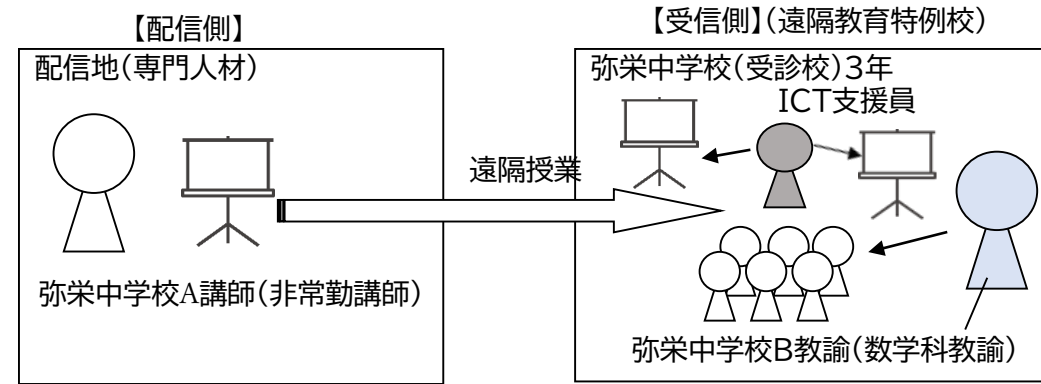


1 目的

都市部から離れた本市に居住している生徒たちに都市部と遜色ない教育環境を作り、学びを深めさせることにつながるだけでなく、教員の働き方改革、さらには本市の今後の発展に資する。

2 実施体制

- (1) 教科・指導内容
技術科「計測・制御に関するプログラミングによる問題の解決」(全13時間)
- (2) 実施校
京丹後市立弥栄中学校
- (3) 講師
選定中
- (4) 実施概要



- 実施期間の全ての授業を遠隔授業として実施する。
- A講師は、配信地(学校外)から受信校である弥栄中学校3年に対して遠隔授業を行う。
- 受信校(弥栄中)に電子黒板を2台設置し、1台は講師や生徒の画面共有用、もう1台は授業の教材や資料提示用として活用するなどWeb会議システムを活用した同時双方向型の授業とする。
- 受信校の教室全体を撮影するWebカメラと、グループ学習を撮影するタブレットを準備し、教室の様子を講師に伝える中で授業を実施する。
- 3年の生徒はクラウド型授業支援システムを利用してA講師に質問や課題提出を行い、A講師も画面共有を行いながら個々の生徒の学習状況について確認を行い、遠隔授業を実施する。
- 受信校の弥栄中学校には、数学科(予定)の教員が授業に入り、受信側の生徒の状況をA講師に伝えたり、個々の生徒への支援を行ったりすることで、A講師をサポートする。
- 更に、ICT支援員を遠隔授業のすべての時間において配置し、機器の管理・操作の支援を行うことにより、遠隔授業の円滑な実施を図る。

3 スケジュール(予定)

- R5.11月～3月 遠隔教育実施のための校内研修の実施
- R6.4月～12月 遠隔教育実施